

【実施報告】平成28年度東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラムシンポジウム

[Topics] 2017年03月15日

平成28年度の東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラムの活動報告シンポジウムを、2月24—25日に実施しました。（開催案内：[リンク先参照](#)）

【全体会】

2月24日（金）

10:00-10:10 部門長挨拶 花輪 公雄

（東北大学学位プログラム推進機構 リーディングプログラム部門 部門長 東北大学理事）

10:10-10:30 プログラムコーディネーター報告 湯上 浩雄

（プログラムコーディネーター 工学研究科 教授）

10:30-11:30 活動報告

「世界津波の日策定に伴う活動展開」 杉安 和也

（災害科学国際研究所 リーディング大学院専任教員 助教）

「熊本地震を経験した大学 HIGOプログラムのグローバルな取組み」 梅田 香穂子

（熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム

グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO 助教）

「ネパールインターンシップでの活動」 穴井 茜

（熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム

グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO 受講生）

「災害看護を起点とした減災活動の展開 ～東日本大震災・熊本地震を教訓に～」 西川 愛海

（DNGL 災害看護グローバルリーダー養成プログラム:高知県立大学 受講生）

■部門長挨拶

東北大学・学位プログラム推進機構・リーディングプログラム部門の部門長の花輪でございます。「東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」平成28年度シンポジウムの開催に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

本リーディングプログラムである「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」は、「我が国や世界が直面する巨大地震や津波などの自然災害、あるいは気候変動、エネルギーセキュリティ問題等を解決し、人類社会の持続性及び安全安心な社会構築に寄与する、グローバル安全学分野のトップリーダー人材を育成すること」を目的としております。

この目的を達成するため、本プログラムでは多様な授業科目からなるカリキュラムを準備しておりますが、中でも、「研究の筋道を自ら設定して実践する経験を通じて、チームを率いるリーダーシップを強化し、アイデアを形にする創造力を鍛える」Convergence Laboratory 研修、通称C-Lab（シーラボ）研修は、もっとも重要な授業科目と位置付けられております。そして、本シンポジウムでは、このC-Lab研修の発表に、本日の午後と明日の午前が充てられています。

プログラムに参加されている皆さんが、長い時間をかけ総力を上げて行ったC-Lab研修活動ですので、今回の発表はいろいろな思いのこもった発表となることと思います。また、英語による発表ということで、準備も大変だったろうと思います。皆さんのチームが苦勞して到達した成果を、余すところなく存分に発表して下さることを期待しております。

また、自分のチーム以外のチームの発表もよく聞いて、その達成度を正しく評価し、ときには批判したりすることとても大切なことです。発表会では、活発な議論を期待しております。

さて、今回のシンポジウムでは、この後すぐ行われるプログラムコーディネーターの湯上浩雄先生によるプログラムの活動報告に加え、3つの話題提供があります。

まず一つ目は、本学災害科学国際研究所の杉安和也（すぎやす かずや）先生による「世界津波の日」制定に関連するイベントへの参加報告です。一昨年の2015年12月22日の国連総会本会議で、11月5日を「世界津波の日」とすることが決議されました。11月5日は、多くの村人を救ったエピソードである「稲むらの火」として知られている安政南海大地震が起こった日であります。この記念の日に関連した様々なイベントが行われていますが、その参加報告がなされます。

二つ目は、リーディングプログラム複合領域「生命健康」に採択されている熊本大学のプログラム、「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO」に参加されている梅田香穂子（うめだ かほこ）先生と、プログラム受講生、穴井茜（あない あかね）さんによる活動報告、「熊本地震を経験した大学HIGOプログラムのグローバルな取り組み」、および「熊本地震が教えてくれたこと～2016ネパールインターンシップ」と題する特別発表があります。

そして三つ目は、リーディングプログラム複合領域の「安全安心」には、本学のほかに2つのプログラムが走っていますが、その一つが、高知県立大学が代表機関となって推進している「災害看護グローバルリーダー養成プログラム」です。このプログラムとは昨年から交流が始まりましたが、このプログラムの受講者生、西川愛海（にしかわ めぐみ）さんによる活動報告、「災害看護を起点とした減災活動の展開－東日本大震災・熊本地震を教訓に－」と題する特別発表があります。

いずれのご講演も大変興味深いもので、今から楽しみにしているところです。講演される皆さん、どうかよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、今日と明日の2日間の本シンポジウムが、参加されている方全員にとって実り多いものとなりますことを期待して、私の挨拶とさせていただきます。



東北大学G-Safety 杉安 和也助教



熊本大学HIGOプログラム 梅田 香穂子助教



熊本大学HIGOプログラム 梅田 香穂子助教



熊本大学HIGOプログラム受講生 穴井 茜さん



2月23日に実施された受講生主催による活動意見交換会の様子（G-Safety2期生 宮鍋慶介 担当）

